

【平成29年度 活動報告】

- ★4月16日 中野サンプラザにて第40回勉強会「地域医療計画と地域包括ケアをつなぐ」に参画。
- ★4月18日 当会事務所にて、朝日新聞東京本社国際報道部記者と懇談。
- ★4月27日 毎日新聞本社にて、アレルギー疾患対策等で協議。
- ★5月11日 一般社団法人「アレルギー患者の声を届ける会」運営委員会に参画
- ★5月21日 平成29年度春季講演会「診療ガイドラインを知って良くなろう」及び総会を開催。
[後援：東京都、(公社)日本医師会、(一社)日本アレルギー学会、(公財)日本アレルギー協会、(独)環境再生保全機構、(公財)日本皮膚科学会東京支部]
総会 平成28年度の活動実績・決算報告、29年度活動計画が承認。
第一部 講演1「アトピー性皮膚炎の治療—診療ガイドラインを中心に」
京都府立医科大学大学院 医学研究科皮膚科学教授 加藤則人先生
講演2「『喘息』と言われてしまった！」
湘南藤沢徳洲会病院 副院長 近藤哲理先生
講演3「的確な治療を受けるための事前準備」
喘息部門 ふれあい横浜ホスピタル 院長 坂本芳雄先生
アトピー性皮膚炎部門 東京通信病院 副院長兼皮膚科部長 江藤隆史先生
第二部「講師を囲んでのQ&A」参加者からの個別質問に講師・常任顧問が回答。
- ★5月25日 一般社団法人アレルギー患者の声を届ける会 運営委員会に参画。
- ★6月16～18日 東京国際フォーラムにて、第66回日本アレルギー学会学術大会にブース設置・広報活動
- ★6月18日 日本アレルギー協会創立50周年記念式典に出席。
- ★6月25日 中野サンプラザにて患者の声協議会「日本の慢性疼痛対策を考える」に出席。
- ★7月4日 テレビ東京ビジネスサテライト平尾氏より重症喘息患者についての取材を受ける。
- ★7月10日 オーストラリア(HCP)日本支社より、ぜんそく患者についての取材を受ける。
- ★7月21日 厚生労働省健康局がん・疾病対策課担当官と、アレルギー疾患の拠点病院等で意見交換。
- ★8月2日 日本製薬工業協会を訪問、川原専務理事、田中常務理事と企業・患者団体との関係性で協議。
- ★8月12日 当会事務所にてアトピー夏休み患者交流会実施
- ★8月16日 厚生労働省健康局がん・疾病対策課佐々木課長とアレルギー疾患対策基本指針等について懇談。
- ★8月25日 当会事務所にてぜんそく夏休み患者交流会実施
- ★9月20日 厚生労働省大臣室にて、関係団体と共に加藤勝信大臣と受動喫煙防止強化法案強化の意見交換会に出席。室内完全禁煙を強く要望。
- ★9月23日 TKP市ヶ谷カンファレンスセンターにて、GSK社、J-PALSアカデミーに出席。
- ★9月27日 PAD(患者から見たアレルギー疾患対策研究会)第3回運営会を開催。ロジックモデルについて検討。
- ★9月28日 アストラゼネカ(株)本社にてEFPIA(欧州製薬連合)の会に出席。
- ★10月6日 毎日新聞本社を訪問し小島記者とアレルギー疾患対策で懇談。
- ★11月9日 厚生労働省健康局がん・疾病対策課課長へ厚生労働大臣宛て要望書について面談、課長補佐と厚労省HPに新たに設置するアレルギー疾患ポータルサイトについて意見交換。
- ★11月12日 平成29年度秋季講演会「良くなるための標準治療」を、フォーラムミカサ エコにて開催。
[後援：厚生労働省・東京都・(公社)日本医師会(一社)日本アレルギー学会・(公財)日本アレルギー協会・(独法)環境再生保全機構・(公社)日本皮膚科学会東京支部]
第一部 講演1「標準治療によるアトピー性皮膚炎の長期マネジメント」
東京慈恵会医科大学 皮膚科教室 主任教授 中川秀己先生
講演2「気管支喘息とリモデリング—最近の話題—」
独立行政法人国立病院機構 東京病院 副院長 庄司俊輔先生
講演3 ベテラン患者からのメッセージ 「良くなったきっかけ・悪くなったきっかけ」
喘息部門：桜井修子さん アトピー性皮膚炎部門：荻野美和子さん
第二部 「講師を囲んでQ&A」参加者からの個別質問に、講師・常任顧問が回答。
- ★11月21・22日 スイス、チューリッヒにて開催の世界9カ国のボードミーティングに日本の喘息患者の代表として出席し、各国の喘息患者の状況や治療について情報交換を行なった
- ★11月26日 東京国際フォーラムにて開催の「アトピー性皮膚炎がもたらす患者への深刻な影響—社会課題としてアレルギー疾患対策を考えるシンポジウム」へ参画、患者の立場から講演。

- ★11月30日 サノフィ(株)主催アトピー性皮膚炎の疾病負荷のメディアセミナーにて患者の立場から講演。
- ★1月9日 厚生労働総健康局健康科正林氏と受動喫煙強化法案について面談。
- ★1月15日 サノフィ(株)社員向け講演会にて患者の立場から講演。
- ★1月23日 自民党本部にて同党厚生労働部会長橋本岳衆議院議員と受動喫煙防止強化法案について意見交換。
- ★1月30日 サノフィ(株)アジアパシフィクス地域の幹部社員向け講演会にて患者の立場から講演。
- ★2月10日 大宮ソニックシティで開催された、アトピー性皮膚炎治療研究会第23回シンポジウムにて患者の立場から「アトピー性皮膚炎患者の疾病負荷と自分らしく生きるためのメイクアップ」を講演。
- ★2月18日 第24回アレルギー週間 中央講演会 日本アレルギー協会・環境再生保全機構 主催 にてブースを設置・啓発活動。
- ★2月24日 ぜんそく実践講座と患者交流会を開催。
- ★2月25日 アトピー性皮膚炎実践講座と患者交流会を開催。
- ★2月25日 一般社団法人アレルギー患者の声を届ける会総会に出席。
- ★3月10日 環境再生保全機構研究成果発表会に出席。

【その他通年事業】

- ★ 月刊誌「あおぞら」を毎月発行し、会員等への最新治療の情報提供。
- ★ 電話・メール・FAX・来所等による療養相談が年間167件(うちメール相談33件)あり、相談に対し、ピアカウンセリング、患者の立場からの助言、専門医の紹介などの対応を実施。
- ★ 講演会での講演を会員の希望者・WEB会員に動画で配信。
- ★ 患者交流会を毎月開催
- ★ ホームページ・Facebook・ツイッター・インスタグラムの更新を随時行い、喘息やアトピー性皮膚炎に悩む多くの方に最新情報と当会活動を発信。
- ★ メールマガジン毎月発行し、多くの患者に情報提供を行なった。(メールマガジン会員429名)
- ★ イオン主催の「黄色いレシートキャンペーン」の参加を継続。
- ★ 患者からみたアレルギー疾患対策推進研究会に参画し、アレルギーの社会への啓発活動を行なった。

【30年度事業計画】

1. 患者による療養相談

毎週火曜・土曜日に電話等による療養相談に応じ（メール相談は随時）、ピアカウンセリングや患者の立場からの助言、専門医の紹介等を行うことによりアレルギー疾患患者やその家族のサポートを行う。

2. 月刊紙「あおぞら」の発行

気管支喘息やアトピー性皮膚炎等についての正しい知識を広め、患者の方々のQOL向上に寄与することを目的として機関紙を発行する。

3. 専門医による講演会の開催

疾病についての正しい知識の普及と最新治療法の情報を提供するため、著名な専門家を講師に迎え、講師に直接質問もできるQ&Aやパネルディスカッションも併設して年2回開催する。

4. 患者交流会の開催

当会の事務所において、患者同士の情報交換や悩みを話し合う場として毎月第四火曜日に開催する。

5. アレルギー週間協賛行事の開催

アレルギー週間において、実践講座等の勉強会を開催する。

6. ホームページ・SNSを通じた情報発信

ホームページを運営し、インターネットを通じて患者に必要な正しい情報を提供する。

7. メールマガジンの発行

メールマガジンを発行し、会員外にも広く正しい情報の提供を行う。

8. 患者会として社会への情報発信

患者の立場からの意見を患者代表として学会やマスコミ等に提言を行う。

9. 他団体・企業との啓発活動

他の患者会や団体および企業との交流を深め、アレルギー性疾患に関する幅広い啓発活動等を行う。

10. 創立50周年へ向けて

創立50周年記念行事へ向けて、準備を更に進める。

11. 患者から見たアレルギー疾患対策推進研究会に参画

アレルギー疾患対策と患者生活の質の向上をめざしアレルギー疾患対策推進研究会に参画する。

12. 当会WEB戦略の構築と現代のニーズに合った改定

当会公式ホームページをリニューアルし、現代のニーズに合ったコンテンツと戦略的な活用を行う。